

## Press Release



証券保管振替機構と台湾証券集中保管公司との覚書の締結について

平成 16 年 11 月 2 日

証券保管振替機構（JASDEC）と台湾証券集中保管公司（TSCD）は、本日、相互協力に関する覚書（MoU）を締結いたしました。

覚書の締結により、両社は相互協力を促進し、両国における振替決済システムの強化に資するため、新規業務に関する情報交換、人的交流、相互研修等の実施が期待されます。

覚書の締結に際して証券保管振替機構の竹内克伸社長は、「証券市場のグローバル化に対応して、証券決済インフラもグローバル化されなければならない。東京と台北では証券法制度における枠組み、証券取引制度、決済制度において違うものの、東京、台北それぞれの市場における決済リスクの減少に対する取組みや証券振替決済システムの効率性追求に関する経験を相互に共有することは有益である。」とコメントを発表しました。

また、台湾証券集中保管公司総経理の朱 富春（Ju Fortune）社長は「1989年に証券保管振替制度を台湾に導入するに際して、当社は中央証券保管機関のオペレーションや法制度の枠組みについて研究するためのチームを日本に派遣した。その経験は非常に役立つものであり私どものシステムを構築する上で参考になった。両社が今後とも業務開発において緊密な協力関係を維持してくことを期待している。」とのコメントを発表しました。

覚書は、直ちに効力を発生します。竹内克伸社長及び朱富春社長は、今回の覚書が友好協力関係を促進し、両社が将来における相互利益の増進に寄与することをともに期待しております。

## Press Release

証券保管振替機構（JASDEC）について

証券保管振替機構は、証券保管振替法に基づき株式・転換社債などの証券についての保管、振替決済を提供している他、完全ペーパーレスした短期社債振替制度を発行会社、証券会社、銀行、その他金融機関に提供しております。さらに、証券保管振替機構は2001年9月から決済照合システムを稼働させるとともに、2004年5月からは子会社である株式会社ほふりクリアリング（JDCC）を通じて取引所外取引決済についてDVP決済システムを提供しております。

台湾証券集中保管公司（TSCD）について

台湾証券集中保管公司是、1989年10月に設立され1990年1月から運営を開始しております。TSCDは、主として、1)証券の保管、2)証券決済や抵当証券のための振替決済、3)証券取引のコンピュータ処理、4)割り当てに伴う振替処理、5)不発行化された証券の登録手続き、6)その他証券監視委員会から承認された業務を提供しています。

2004年9月現在、TSCDの資本金は24億7600万NTドル(米ドル換算7,349万ドル)。TSCDの参加者は704社で1,488箇所の参加者の本支店とのリンクが運営されております。管理口座数は1,200万口座。台湾証券取引所に上場されている株式のうち419,763,060,580株がTSCDに預託されており預託率は83.62%です。また復興証券取引所については54,998,838,560株がTSCDに預託されており預託率は88.16%となっております。なお、Gre Tai 銘柄として新興市場株は13,640,396,760株が預託されており、Gre Taiの預託率は39.60%となっております。

問合先

株式会社証券保管振替機構

企画部課長 中野 守啓

電話 03 3661-5674

E-mail: [m-nakano@jasdec.com](mailto:m-nakano@jasdec.com)

台湾証券集中保管公司

インターナショナル・ビジネス マネージャー

Dr. Carol Hsu

電話 +886-2-2514-8687

E-mail: [e935931@tscd.com.tw](mailto:e935931@tscd.com.tw)